

平成26年3月18日

平成26年地価公示についてのコメント

一般社団法人不動産協会
理事長 木村 恵司
(三菱地所(株)会長)

- 平成26年の地価公示は、全国平均では住宅地・商業地とも下落したが、下落率は縮小傾向が続いている。また、地方圏においては下落したものの、三大都市圏平均では上昇に転換するなど、アベノミクス効果による景況感の改善等を背景に、引き続き回復の兆しが見られる。
- こうした回復の動きをより確実なものとし、資産デフレからの脱却と持続的な経済成長につなげるために、大都市の国際競争力の向上や良好な住宅ストックの形成など、内需主導による成長戦略の強力な実行を期待したい。
- 我が国経済にとって、本年は正念場とも言える重要な年であり、東京オリンピック・パラリンピックという夢のあるビッグプロジェクトも控える中、防災・環境に優れたまちづくりなど、不動産業界に期待される役割はますます大きい。当協会としても、そういった期待に応え、成長戦略の実行に向け、魅力的なまちづくりや良質な住宅の供給をはじめとした様々な取り組みを一層加速させることにより、貢献して参りたい。

以 上